

## 仁比議員 第2次岩国基地調査 爆音訴訟の会との懇談も 基地シンポ第1回実行委員会を開催



2月9日、仁比聡平参議院議員は1月11日に続き第2次の米軍岩国基地調査を行いました。

仁比議員は基地周辺で基地監視を続ける戸村良人さんの説明を受けた後、岩国爆音訴訟の会の役員と懇談、「環境基準に反する米軍機の騒音問題を国会で取り上げてほしい」との要請を受けました。

さらに、「岩国基地の拡張・強化に反対する広島県住民の会」の坂本千尋共同代表とも懇談しました。

この日、日本共産党の中国5県の代表も岩国基地

調査をし、6月2日（土）に予定している「中国ブロック基地シンポ」の第1回実行委員会を開催、岩国基地の危険な変容と中国地方全体での「戦争する国づくり」をストップするため、基地シンポの成功を確認しました。

## 大平さん 鳥取市立病院と懇談 医師確保の要請が

日本共産党の大平喜信前衆議院議員は8日、市谷知子鳥取県議らとともに、鳥取市立病院の早田俊司病院長らと懇談しました。（写真）

早田院長は、「地域医療を守るために自治体病院が果たしている役割や地方の自治体病院での医師不足や経営の困難さ」などを話し「国に医学生が県内にとどまる手だてなど医師確保対策を」と求めました。



## 中国ブロックいっせい宣伝 岡山では100回近く



2月9日、中国ブロックの各県でいっせい宣伝が取り組まれ、大平喜信前衆議院議員を先頭に、中国ブロック全体で149回の宣伝を繰り広げました。大平さんは、急きょ市議補選がたたかわれることになった広島市安芸区を訪れ、中石ひとし候補や広島市議団とともに宣伝をしました。（写真）

岡山県委員会は、29支部が参加して93回宣伝しています。3000万署名が51筆集まり、「寒い時にご苦労さん、戦争は絶対反対。頑張ってる」などの声援が寄せられていました。